

ボランティア通信 2020. 4 Vol. 240



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



2020・21年度新役員決まる

役職	氏名	所属グループ
会長	菊田 広子 (再・前副会長)	あい・かざぐるま
副会長	梶 記代美 (再・前会計)	星の会・さつき
	馬場 巡 (新)	陽だまり
書記	庄田 竜子 (新)	ふれんズ
会計	西崎 二三江 (新)	ひまわり
会計監査	和久田 綾子 (再・前会計監査)	さつき

顧問 (2名) 役員会より委嘱

- 栗原 清美子 (ほほえみ・糸ぐるま・かざぐるま)
- 川下 武士 (虹の会)



「写真説明」
前列左から 川下顧問、菊田会長、栗原顧問
後列左から 梶副会長、馬場副会長、庄田書記
円内左から 西崎会計、和久田会計監査

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 894-3737)
(Fax 891-3340)

指名委員会が人選・リーダー会で承認

2020・21年度ボランティアグループ連絡会
役員の選出にあたって、昨年12月から指名委員会(指
名委員はあい・さつき・星の会・虹の会・ほほえみの
5グループと役員)での検討が始まり、今年1月の応
募を経て、役員候補者の人選に着手しました。役員を
引き受けてくれる人がなく随分難航しましたが、最
終的に左記のメンバーを候補者として、リーダー会
議で満場一致の承認をいただくことができました。
任期は今年4月から2年間です。(指名委員会)

みんなで力を合わせて 会長 菊田 広子

この度、会長を引き受けることになりました。大変な時期
に大役を仰せつかり戸惑いを隠せませんが、ボランティア皆
さまのお力添えをいただきながら、役員一同協力して活動に
取り組んでまいります。

少子高齢化の社会にあって、ボランティアグループ連絡会
の活動についても、いろんなことが問われています。そのよ
うな中で一昨年から諸活動の見直しが進められてきました。
そして誰もが活躍できる新たな連絡会活動を目指して、明
るく楽しいボランティア活動の展開に尽力したいと思っ
ています。ボランティア皆さまの変わらぬご理解とご協力をお
願い致します。

ボランティア インタビュー-83 西村佐世子さん(虹の会)

3月号に記載予定のインタビューを
4月号に掲載しました

ボランティアを始められた
きっかけは

出産のため退職し、3人の娘
を育て、子育てが一段落して落
ち着いてきたので私的なお稽古
は始めていたのですが、何か社
会に関わることができないかと
思っていました。そんなとき交
野市の文化祭で展示されていた
点訳の広報に出会いました。
「これだ!」と思い、すぐに虹の
会の代表の方に連絡をして入れ
ていただきました。

末娘と一緒にボランティア

翌春に幼稚園に入園するまで
末娘を連れて虹の会に参加しま
した。(その娘が今では交野市の
職員として頑張っています)
最初は点字板で一点一点を点
字で書いていましたが、次にタ
イプライター、パソコンで点訳
するようになりました。



毎日が点字とのお付き合い

日本ライトハウスでマルチメ
ディア デイジーのボランティア
をしています。マルチメディア
デイジーとは、視覚障害・学習障
害・知的障害などを持つ方たちが
利用される電子書籍で、本をスキ
ヤンして、その電子書籍の素にな
るデータを作成しています。他
に、日本ライトハウスの直属では
ないのですが、英語の専門点訳も
しています。

趣味は点訳とインディアカ、書
道にパソコンゲームです。

これからも楽しく

虹の会では、広報の点訳に加
え、ご依頼の点訳や、勉強のため
「天声人語」など新聞のコラムも
点訳しています。ネットにデー
タをアップして全国の方に利用し
ていただける「サピエ図書館」へ
の活動にも頑張っています。活動
日は、毎週金曜日10時~16時、
ボランティアセンターです。
「きょういく(今日行く)」と「き
ょうよう(今日用)」が有り、毎日
が楽しいです!

リーダー会議 (3月24日)

- ☆会長挨拶
- ・新型コロナウイルス感染防止の影
響に関して
- ☆連絡会より
- ・新年度役員改選と指名委員会での
選考経過について
- ・新年度V連絡会役員の承認につい
て(1頁参照)
- ・新年度各グループリーダー・サブリ
ーダーの報告
- ・退任役員・退任リーダーあいさつ
- ・顧問委嘱について(1頁参照)
- ・新年度活動方針について
- ・ボランティアセンター春の大掃除
について(今春は中止)
- ・連絡会QRコードについて(下段参
照)
- ☆Vセンターから
- ・令和2年度ボランティアセンター
事務調整について
- ・グループ活動記録について
- ・登録グループ一覧表について
- ・ボランティアセンター利用許可申
請書について
- ・2020年度ボランティア保険に
ついて
- ☆各グループから(省略)



読み込むとホームページが
閲覧できます。

ボランティアグル
ープ連絡会のQRコー
ドを作成しました。



○平成3年11月に「
ボランティア機関紙
なかま」が創刊され
た。その後平成13年
5月から現在の名称ボランティア
通信「なかま」に変更。以来、毎月
発行を続け240号に達した。思
えば長く続いたものである。その
「なかま」が、今年7月から季刊
紙としてリニューアルする。
○新たな顔ぶれでどのような広報
紙に変わってゆくのか、またボラ
ンティア各位の積極的な関与をも
期待しながら、成長を見守りたい
ところである。
○2020年、新型コロナウイルス
の脅威が世界に拡がり、人類の
力の限界を思い知らされた。早い
終息を祈るばかりである。

2020年度グループリーダー・サブリーダー決定

2020年度、各グループのリーダー・サブリーダーについて、3月のリーダー会議において、下表の通り各グループから報告を受けました。それぞれ任期は1年です。

グループ名	リーダー	サブリーダー	グループ名	リーダー	サブリーダー
陽だまり	馬場 巡	志波 久子	ほほえみ	山宮 加代子	森本 昌子
かざぐるま	栗原 清美子	黒田 直美	ふれんズ	佃 静枝	山本 むつ美
アリス	勝野 豊子	岡本 彰子	糸ぐるま	林 志都江	横山 津弥子 島田 聖子
さつき	芝山 香	高橋 博子	HAND	吉賀 直子	谷内 博子
星の会	新里 幸子	岩渕 正子 坂口 和代	ひまわり	西崎 二三江	池田 徳子
虹の会	笹岡 武子	中野 セツ子 鈴木 久美	玉手箱	岡崎 佳世子	作本 儀蔵
あい	神原 洋子	福光 和代 中村 清子			



出会は貴重な財産

前会長 川下 武士

月日の過ぎるのは早く、ボランティアを始めて20年が過ぎた。会社に在職中から退職したら、地域でボランティアをやるつもりでいたが、こんなに長くやるとは思ってもみなかった。どのようなボランティアをするのか決めてもいなかった。少し興味のあったのが点字で、講座があれば受講しようと思っていた矢先のことであった。家内が近所に点字をしている人がいることを聞きつけてきた。それでは一寸覗いてみるかと、点訳「虹の会」の活動日にボランティアアセンターへ顔を出したのが始まりであった。

それから4年後に、「虹の会」のリーダーを2年間務めさせていただき、ホッとしていると、ボランティアセンター・コーディネートーターの木本女史に連絡会の役員を受けてくれないかと持ちかけられ、軽い気持ちで受けたが、その後、14年(内、会長8年)も役員を続けようとは思わなかった。

平成21年7月には、食道がんに罹患し、余命半年の宣告を受けたが、抗癌剤治療に続き、リンパ節・食道の切除

手術を受け10月末に退院。その3ヵ月後にボランティア活動に復帰、真にステージ4から奇跡の生還であった。助けていただいたこの命、身体と相談しながら「欲張らず、無理せず、楽しく」を自分自身に言い聞かせながら10年が過ぎた。最近頃には体力の衰えを感じるようになった。この辺りが引き際かと思いたつ。欲張らず慎ましくの余生を考えると、人生百歳時代、ここは一度身体のリフレッシュも必要だとの考えに至った。

ボラ連の活動はまさしく人との出会いである。諸々のイベントや会合、他市との交流も含め、そこに関わる大勢の人々との出会いに勇気づけられ、また背中を押していただいた。この14年の貴重な体験をさせていただいた皆さまに感謝を申し上げたい。本当にありがとうの一語に尽きる。

これからは点訳ボランティアの活動をベースに、連絡会の諸活動にも微力であるが協力していく。

そしてボランティアの皆さまと一緒に新役員を支え、連絡会の新たな発展を見守っていききたい。

連絡会活動の効率化にむけて 誰もが活躍できる新たな門出へ

一昨年から取り組んできました連絡会活動の効率化にむけて、各種イベントのあり方や開催時期の検討に加え、今回はリーダー会議や役員会のあり方、広報紙「なかま」の発行等についても検討の結果、令和2年4月から新たな形で進めてまいります。

リーダー会議を隔月開催に

これまで23年間、リーダー会議を毎月開催してきました。大阪府下の各ボランティア連絡会で、このような活動をしている連絡会はまだ、他市町村からは高い評価をいただけてきました。

活動の効率化をすることにより、ボランティア活動の時間の確保や、連絡会の門戸を広げることになり、新たな団体加入の可能性が増えます。連絡会の縮小ではなく、誰もが活躍できる連絡会の新たな門出となります。

広報紙「なかま」は季刊発行へ

広報紙「なかま」が月刊紙になって20数年を経て通巻240号に達しています。「なかま」の発行については編集委員会を構成して作業をしています。今年度からは季刊紙として年4回の発行に移行し、装いも新たに、ボランティアの身近な広報紙として親しまれる内容を目指します。

なかま編集委員大募集!!

「なかま」の製作についてお手伝い頂けるボランティアを新たに募集します。あなたのお力をなかまの製作にぜひお貸しください。実際の活動は「なかま」7月号から携わっていただきます。企画から編集・発送まで幅広く活動できます。

- ◎ 広報紙作りに興味のある方
- ◎ 紙面作りや文章作成の好きな方
- ◎ パソコン入力ができる方
- ◎ 写真撮影が好きな方
- ◎ インタビューがお得意な方
- ◎ 「なかま」の仕分け・配布作業等々、どれか一つでもお手伝い

今年度から変わります

リーダー会議の開催月
4・6・8・10・12・2・3月
「第4火曜日 10時〜」

ボランティア通信「なかま」
発行：4・7・10・1月の年4回
4月は6日(月)発行
7月以降発行日 ~第1月曜日~

ただける方は、4月末日までにボランティアセンターまでご一報ください。お待ちしております。

お知らせとお断り

なかま3月号は新型コロナウイルス感染防止の影響で発行を停止しましたが、HPには掲載していますのでご覧ください。

その中で「連絡会活動の効率化に向けて」と「ボランティアインタビュー」は4月号で再掲載していますのでご了承ください。

また3月号掲載記事の中で「第26回バリアフリー展」へのご案内記事は新型コロナウイルス感染防止のため、イベントが中止になりましたのでお知らせします。

新型コロナウイルス対策「マスク」の材料をご提供ください

新型コロナウイルス感染予防のため、布製マスクの製作を検討しています。材料となるゴムと布地が不足しています。ボランティア皆様のご協力をお願いします。

ご提供いただける方は、ボランティアセンターへお持ちください。
ボランティアグループ連絡会